

## ■第 1 章■ さまざまな書式（フォント）

入門 1 では文字の色や大きさの変更について勉強しましたが、  
基礎 1 ではその他の書式の変更の仕方について勉強しましょう。

### STEP 1. 文書を用意しましょう

新しい文書を開き次のように文書を作成しましょう。  
フォントサイズ：16

「

」

カレンダー↵

子供が文房具屋にカレンダーを買いに来まして。↵

文房具屋「坊や、どんなカレンダーがいいのかな。」↵

子供「うん、なるべく休日が多いやつ。」↵

↵

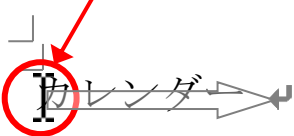
悪の十字架↵

ある早朝一人の老婆が、まだ降りているデパートのシャッターに向かって、あたかも、そのデパートに恨みでもあるかのごとく、叫んだ。↵

老婆「開くの十時か。」↵

## STEP 2. 文字を太くする（太字）

### 1. 文字を選択しましょう



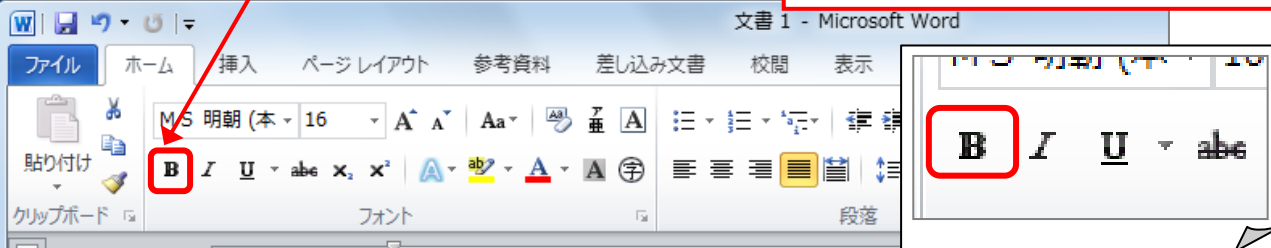
1 マウスポインタを1行目の「カレンダー」の前に移動し、「カレンダー」の文字をドラッグします。

子供が文房具屋にカレンダーを買いに来まして。↵

文房具屋「坊や、どんなカレンダーがいいのかな。」↵

子供「うん、なるべく休日が多いやつ。」↵

### 2. 太字にしましょう



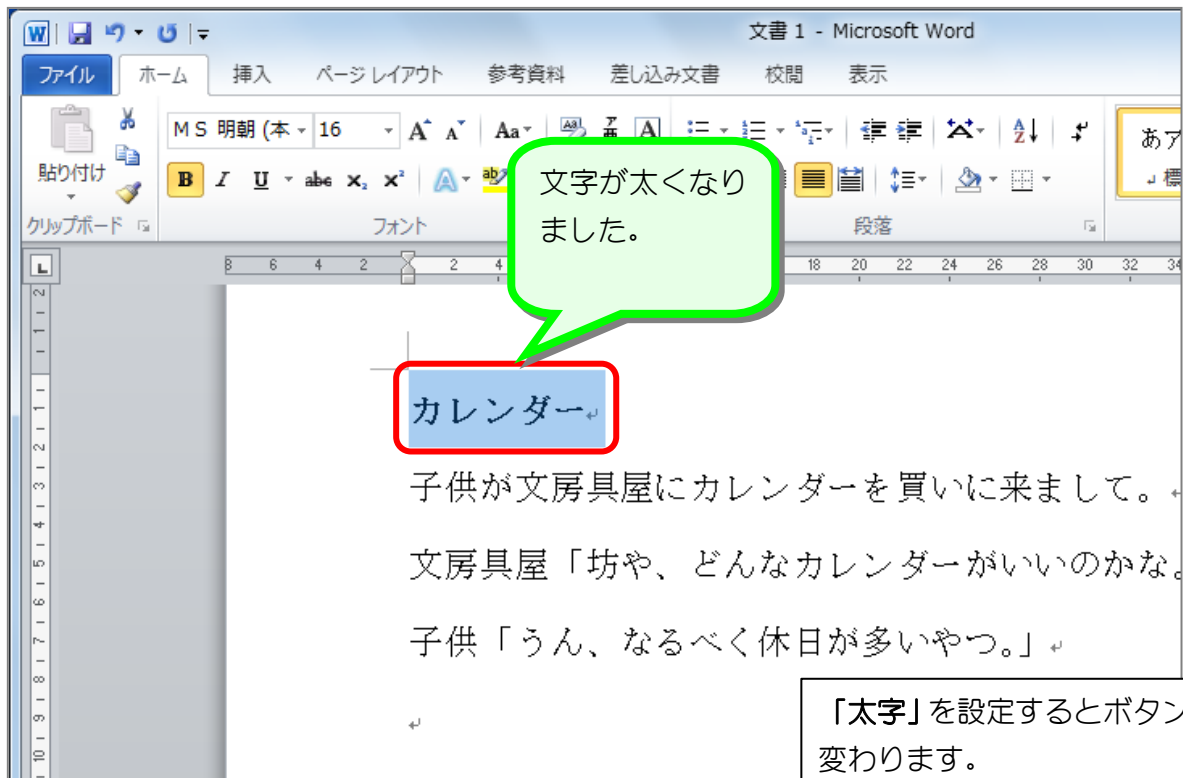
1 「太字」をクリックします。

カレンダー↵

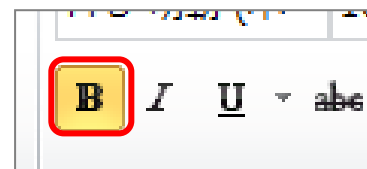
子供が文房具屋にカレンダーを買いに来まして。↵

文房具屋「坊や、どんなカレンダーがいいのかな。」↵

子供「うん、なるべく休日が多いやつ。」↵



「太字」を設定するとボタンの色が変わります。



- 2 文書内の適当なところをクリックして選択を解除しましょう。

## 練習問題

- 次のように「悪の十字架」を太字にしましょう。

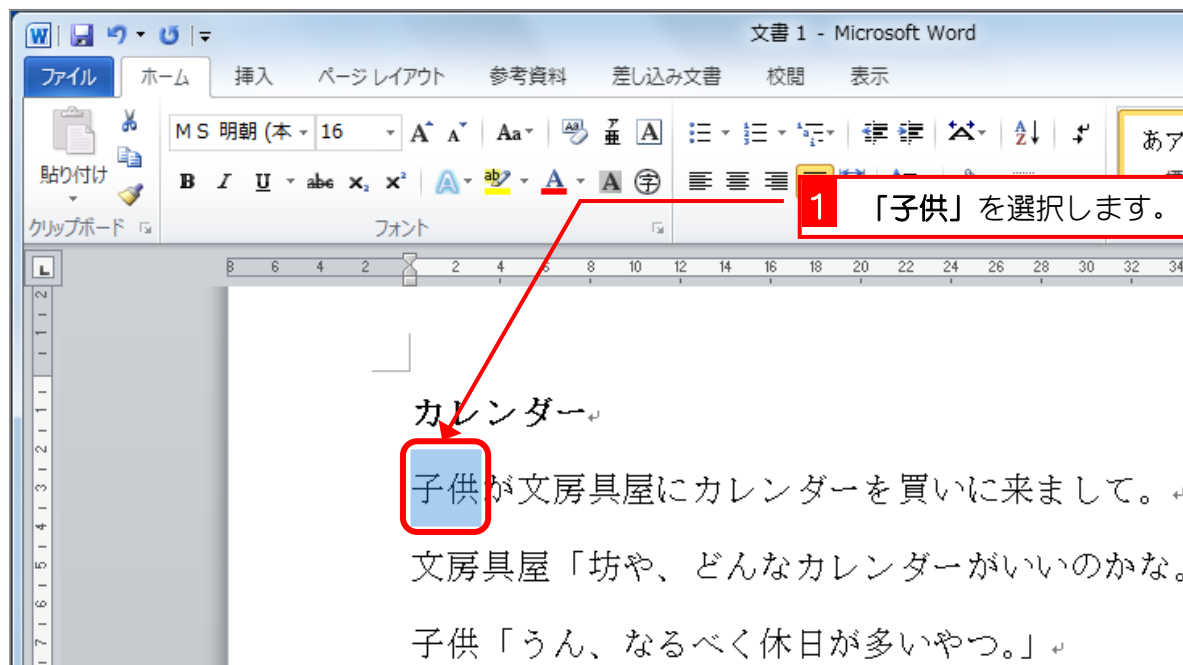
**悪の十字架**

ある早朝一人の老婆が、まだ降りているデパートのシャッターに向かって、あたかも、そのデパートに恨みでもあるかのごとく、叫んだ。

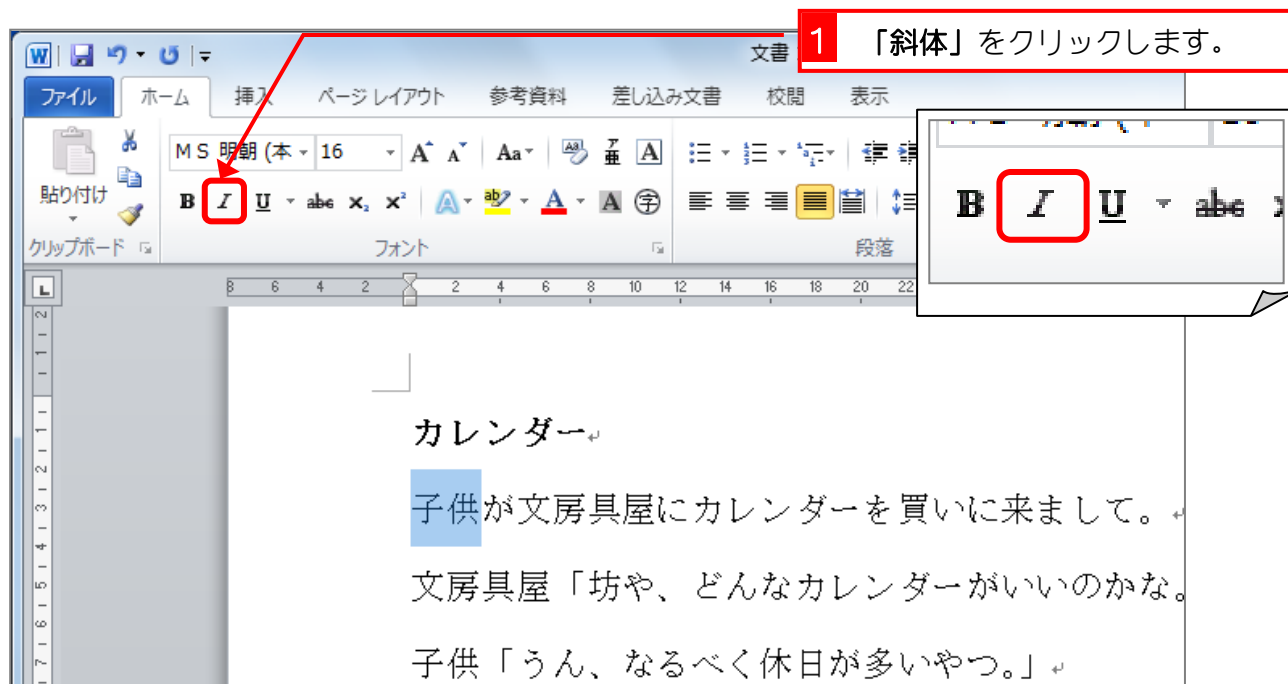
老婆「開くの十時か。」

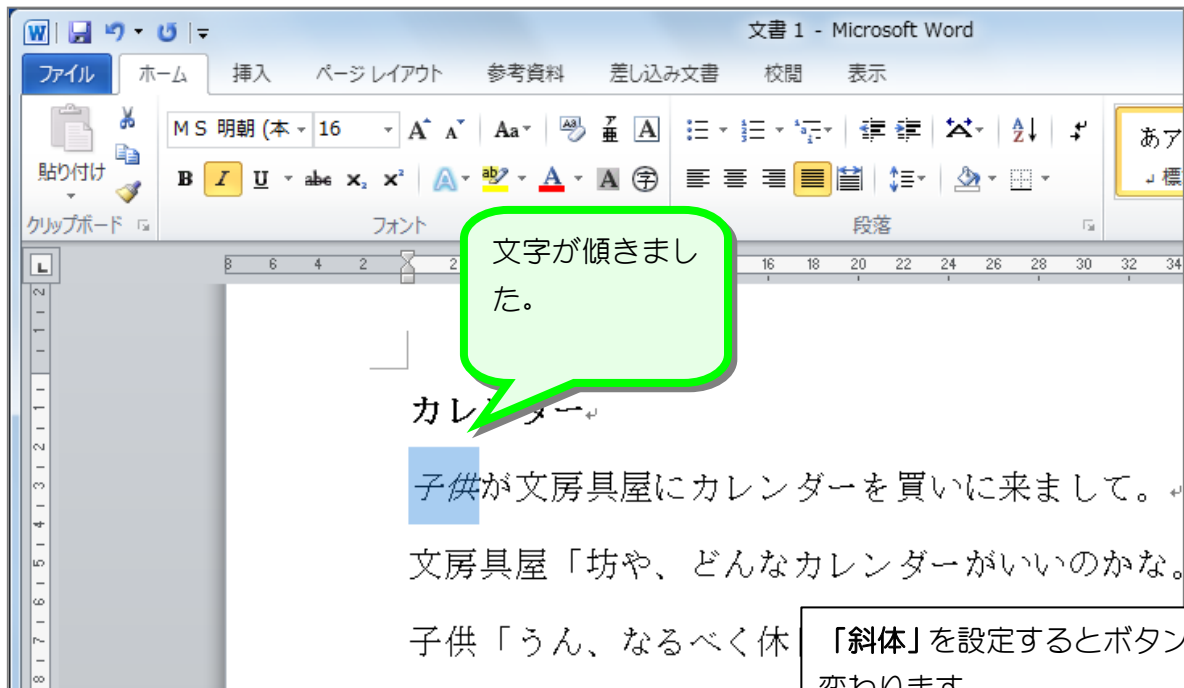
## STEP 3. 文字を傾ける（斜体）

### 1. 文字を選択しましょう

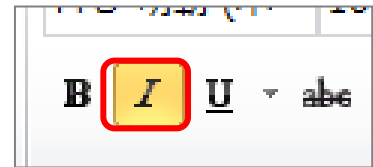


### 2. 斜体にしましょう





「斜体」を設定するとボタンの色が変わります。



- 2 文書内の適当なところをクリックして選択を解除しましょう。

## 練習問題

- 次のように「ある早朝」を斜体にしましょう。

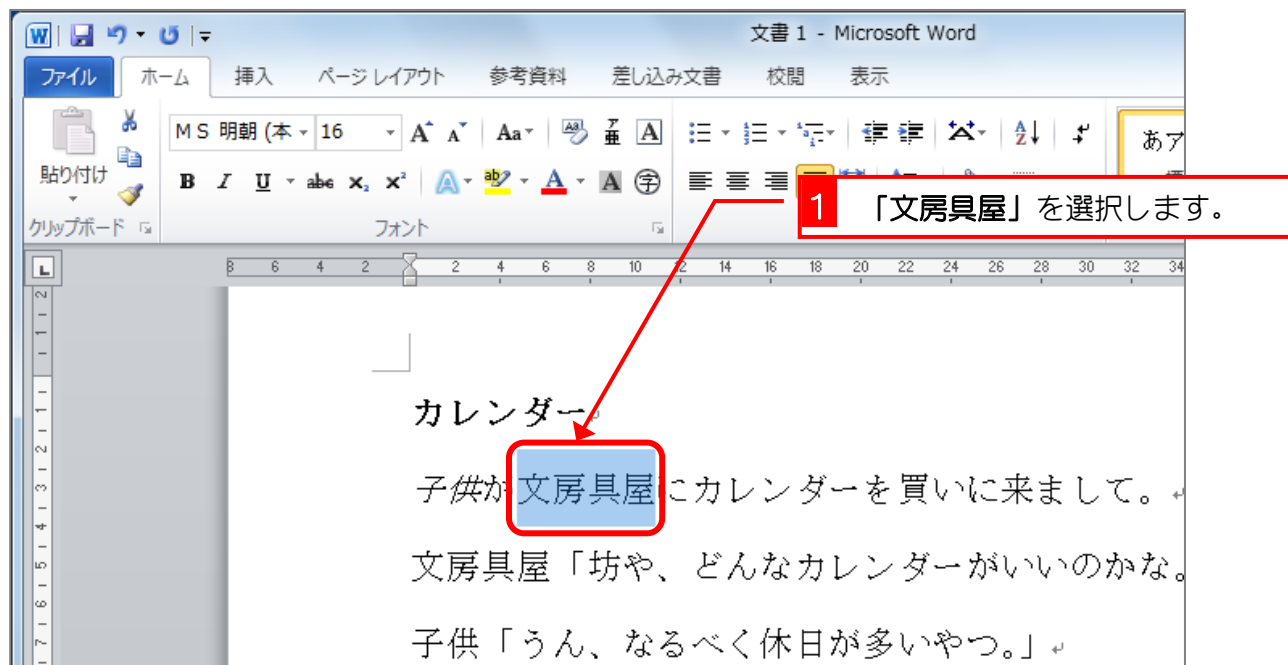
悪の十字架

ある早朝一人の老婆が、まだ降りているデパートのシャッターに向かって、あたかも、そのデパートに恨みでもあるかのごとく、叫んだ。

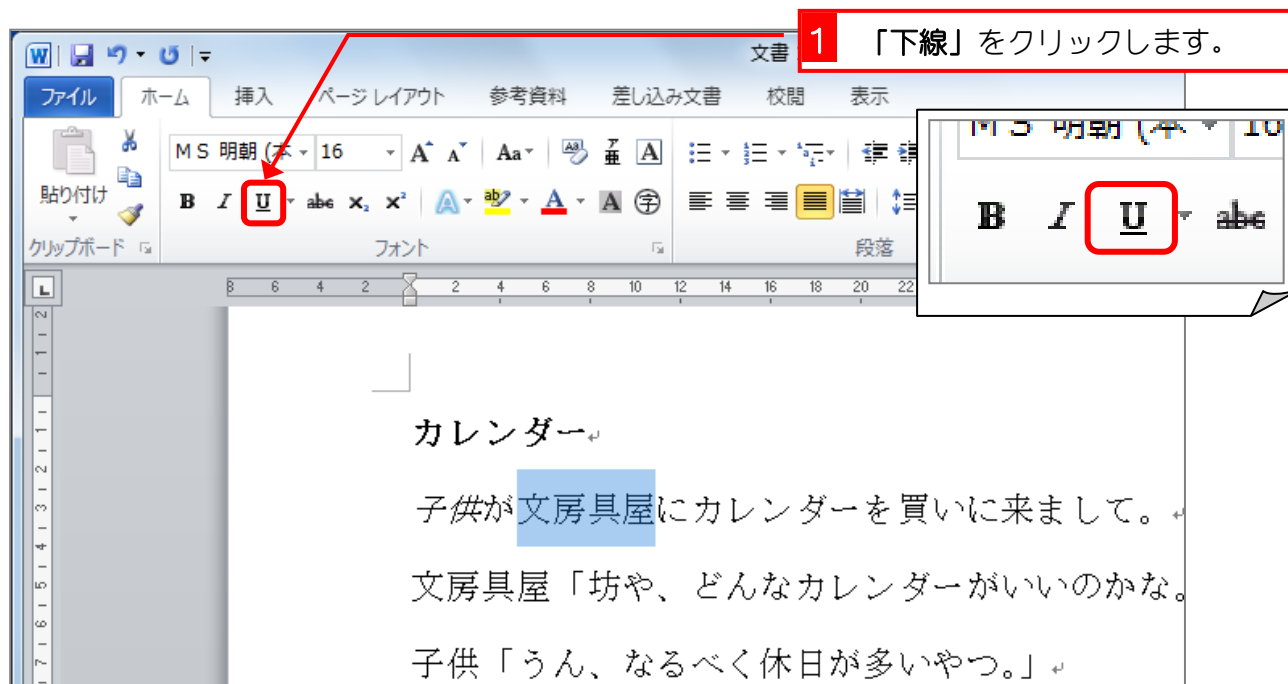
老婆「開くの十時か。」

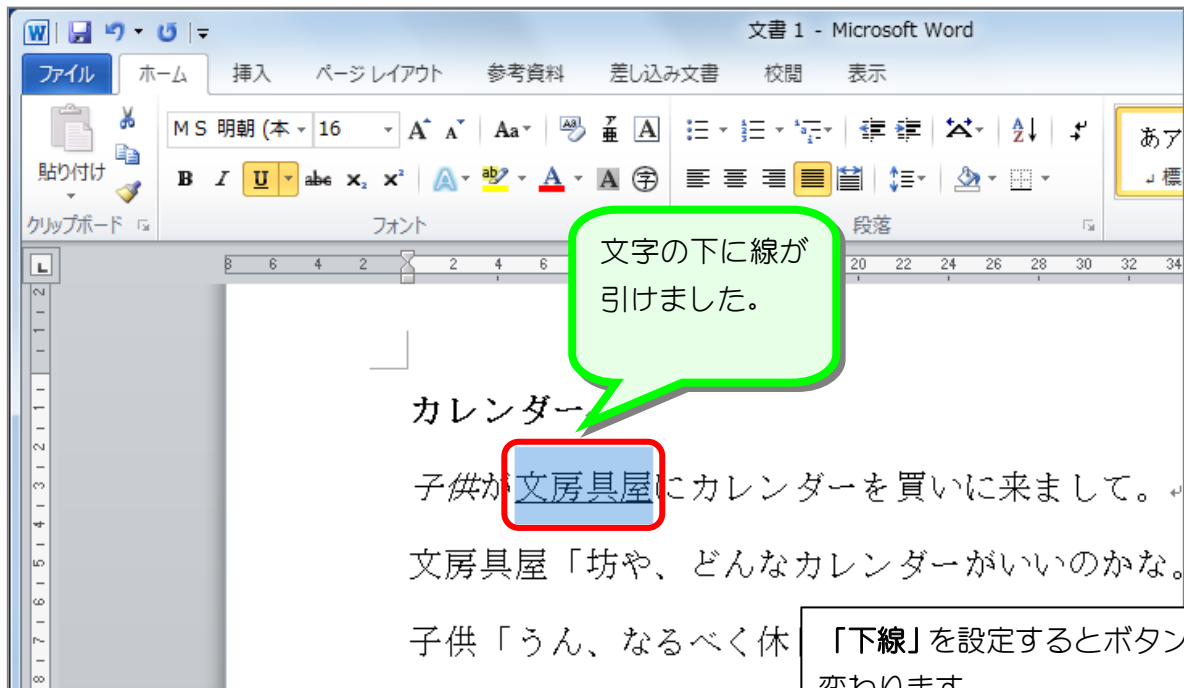
## STEP 4. 文字の下に線を引く（下線）

### 1. 文字を選択しましょう

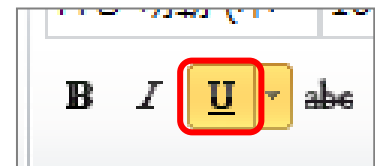


### 2. 下線を引きましょう





「下線」を設定するとボタンの色が変わります。



- 2 文書内の適当なところをクリックして選択を解除しましょう。

## 練習問題

- 次のように「一人の老婆」に下線を引きましょう。

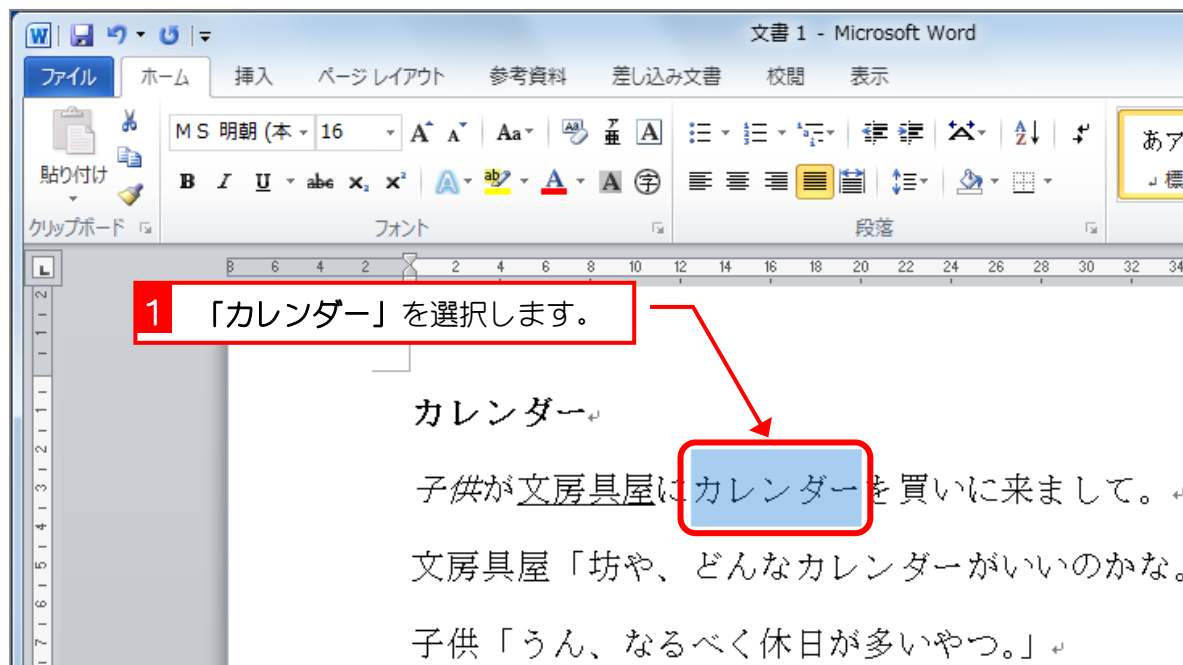
### 悪の十字架

ある早朝一人の老婆が、まだ降りているデパートのシャッターに向かって、あたかも、そのデパートに恨みでもあるかのごとく、叫んだ。

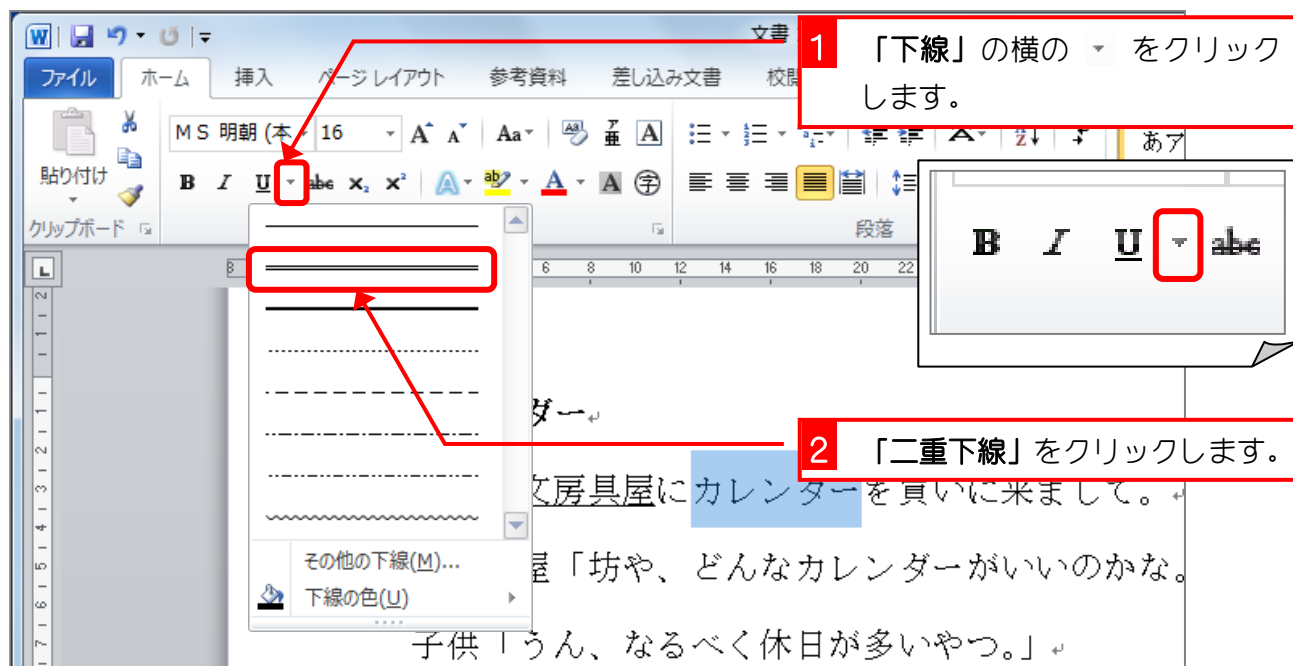
老婆「開くの十時か。」

## STEP 5. 文字の下に二重線を引く

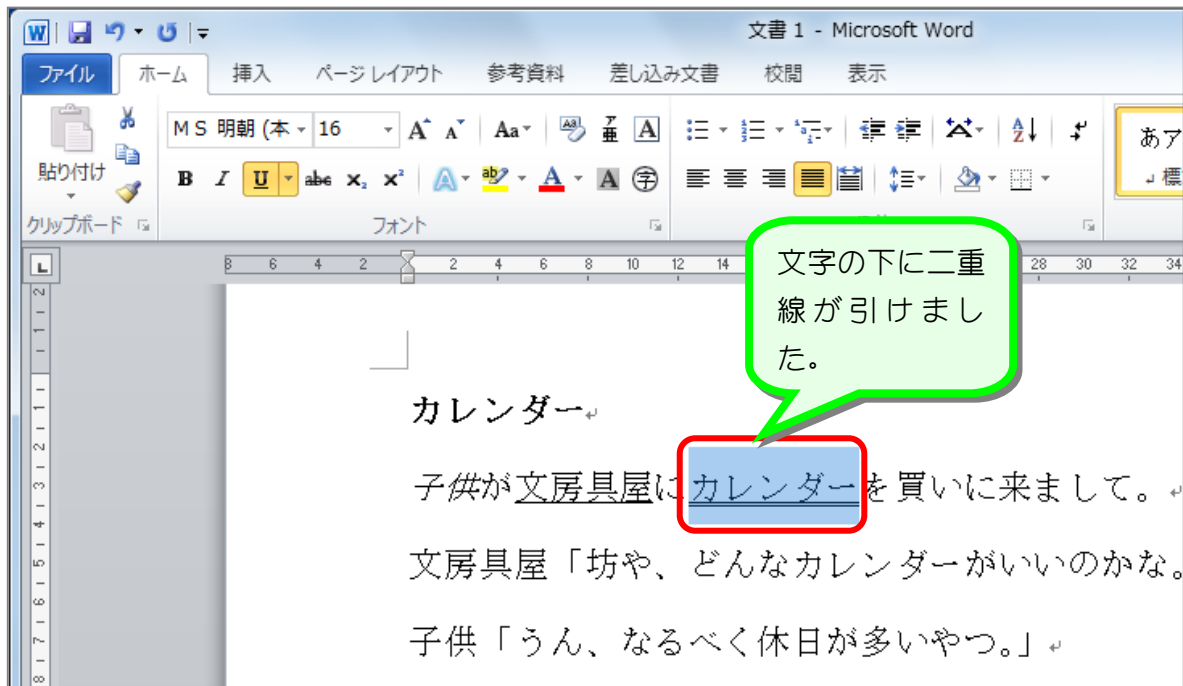
### 1. 文字を選択しましょう



### 2. 二重下線を引きましょう







- 3 文書内の適当なところをクリックして選択を解除しましょう。

## 練習問題

- 次のように「まだ降りているデパート」に二重下線を引きましょう。

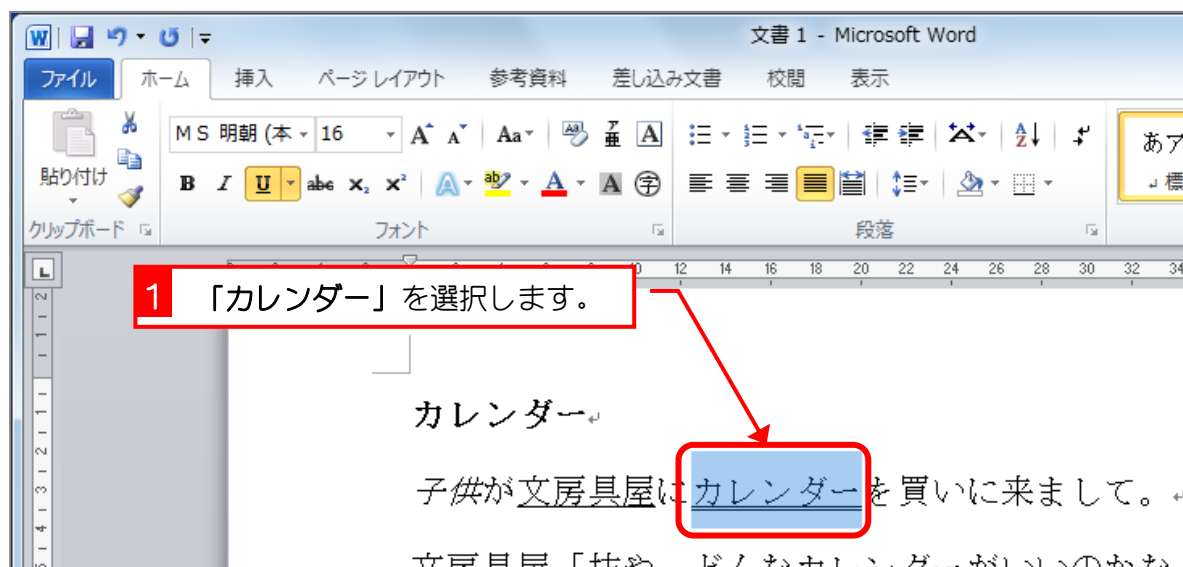
### 悪の十字架

ある早朝一人の老婆が、まだ降りているデパートのシャッターに向かって、あたかも、そのデパートに恨みでもあるかのごとく、叫んだ。

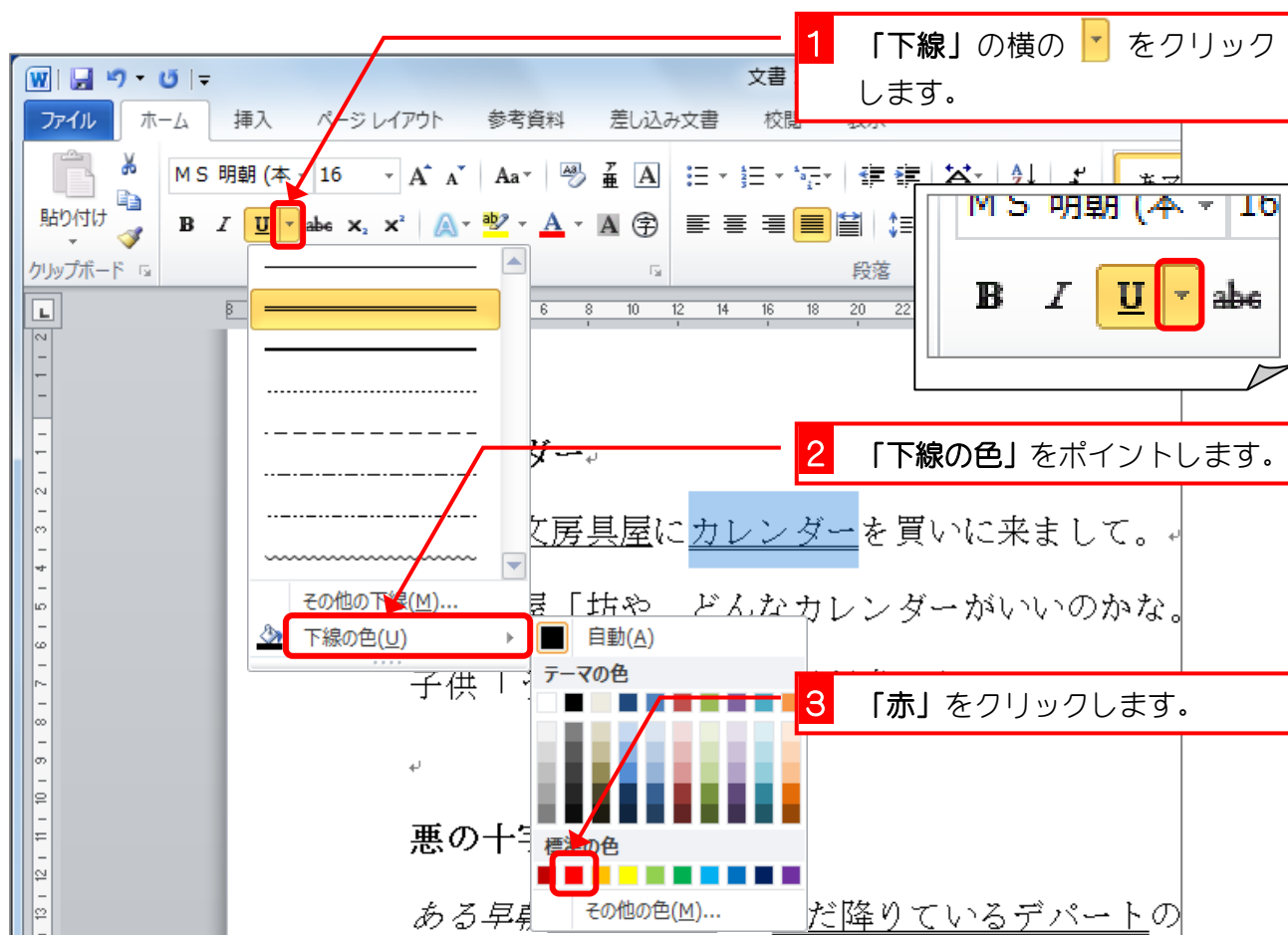
老婆「開くの十時か。」

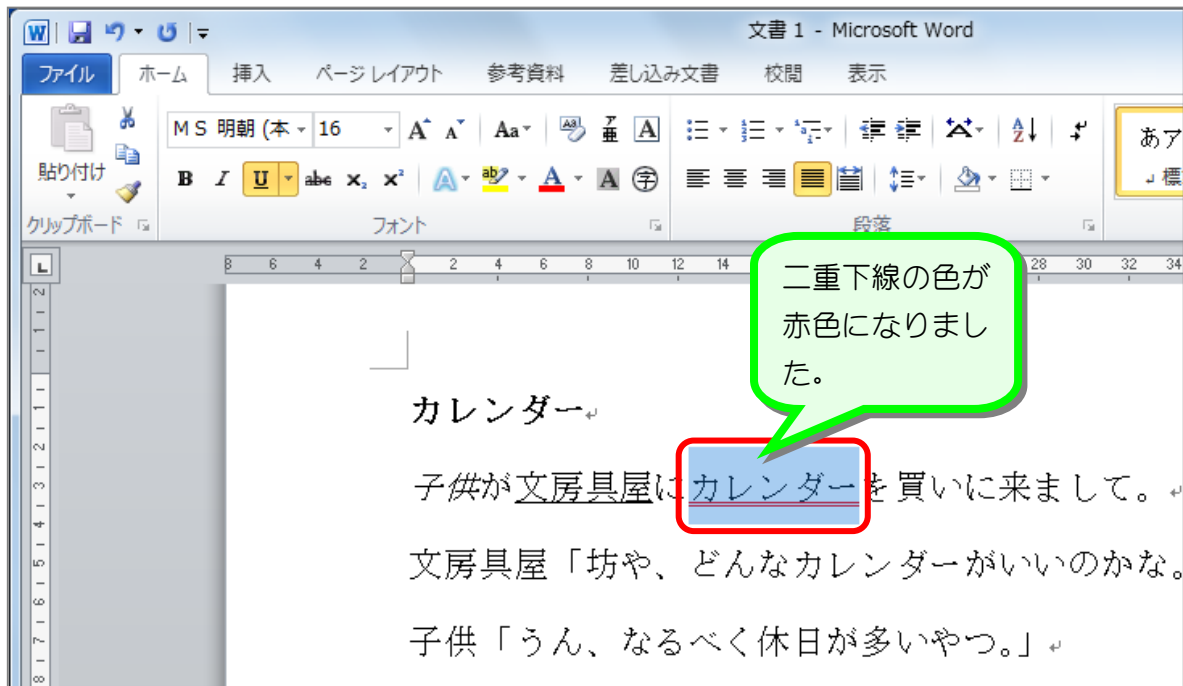
## STEP 6. 下線の色を変更する

### 1. 文字を選択しましょう



### 2. 二重下線の色を赤色に変えましょう





- 4 文書内の適当なところをクリックして選択を解除しましょう。

## 練習問題

- 次のように「まだ降りているデパート」の二重下線を赤色にしましょう。

### 悪の十字架

ある早朝一人の老婆が、まだ降りているデパートのシャッターに向かって、あたかも、そのデパートに恨みでもあるかのごとく、叫んだ。

老婆「開くの十時か。」